



伊藤 優真 (いとう ゆうま) 大和田小 2年生

作品名:「くうきはどこに?」を読んで

図 書:くうきはどこに?

ぼくは「くうきはどこに」を読みました。なぜこの本を読んだかという、いままでくう気のことなんて、かんがえたこともなかったからです。

ぼくがーばんおどろいたことは、ちきゅうのまわりにあるくう気が五千ちょうトンだったということです。五千ちょうトンなんてわからないから、じ書でしらべたら、一トンは千キロって書いてありました。しらべてみても、ぼくにはむずかしいです。

おさらの上やコップの中にもくう気があるということも、知りました。六じょうのへやだと三十キロもあるそうです。ふだんはくう気のおもさなんてかんじないけど、もってみるとすごくおもいってわかりました。

それと、水中にもくう気があると知りました。くう気は水にとけているから人げんがすえないから知らなかったです。

ぼくは、本に書いてあるじっけんをまえにおふろでやったことがあります。コップをさかさまにして、おふろの中に入れてもコップに水が入らない、というじっけんです。なぜ入らなかったかという、コップの中にくう気が入っているからだ、本を読んでわかりました。

くう気は人げんやどうぶつやさかなたちが生きていくためにひつようなんだと思いました。